

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)阿部様高齢者施設 新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京都市右京区太秦安井水戸町5番4	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条地域	平均居住人員	59 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2018年11月20日
敷地面積	1,487.69 m ²	作成者	山上
建築面積	605.71 m ²	確認日	2018年11月22日
延床面積	2,123.46 m ²	確認者	高月



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み: 87% (160 kg-CO₂/年・m²)
 ③上記+②以外の: 87% (160 kg-CO₂/年・m²)
 ④上記+: 87% (160 kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.5)

Q のスコア = 2.4

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.7)

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 1.9)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.2)

LR のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.9)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
利用者・職員にとって良好な住まい、また周辺環境に調和するような建物を目指して計画しました。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
良好な室内環境となるように努めました。 ・各居室に対して、窓を大きく取り日光を多く取り入れられる様にした。 ・規制対象の建材について、全てF☆☆☆☆の建材を使用	良好な室内環境となるように努めました。 ・各居室について十分な広さを確保している。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギーに配慮した計画としました。 ・熱負荷に対する外皮性能の向上に努めている、外壁:ALCt=100、屋根:A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号t=50 ・省エネにてBPI _m =0.84	環境配慮に関する条例基準に適合するように努めました。 ・省エネ性能の向上に努めることによりLCCO ₂ の削減に努めている。 ・機器選定等、周辺環境に配慮した照明計画を行うように努めた	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される